

# WOWOW

各位

2026年3月2日

株式会社 WOWOW

代表取締役 社長執行役員 山本 均

(コード番号：4839 プライム市場)

プレスリリース

## 「八月の声を運ぶ男」の演出を手掛けた柴田岳志さんが、令和7年度（第76回）芸術選奨放送部門文部科学大臣賞を受賞



株式会社WOWOW（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 山本 均、以下「WOWOW」）が制作した「八月の声を運ぶ男」の演出を手掛けた柴田岳志さんが、本作の成果により令和7年度（第76回）芸術選奨放送部門文部科学大臣賞を受賞しました。

芸術選奨は1950年に文化庁が設立した賞で、演劇、映画、音楽、舞踊、文学、美術A、美術B、メディア芸術、放送、大衆芸能、芸術振興、評論の12部門において、その年に優れた業績を挙げた人、または新生面を開いた人に「芸術選奨文部科学大臣賞」、「芸術選奨文部科学大臣新人賞」が贈られます。

本作は、長崎に暮らし日本全国を歩き回って被爆者の声を集め続けたジャーナリスト伊藤明彦の実話に基づいた、原爆によってもたらされた数奇な出会いの物語。当社国内プロダクション事業の第1弾として企画・制作を受注し、NHKにて戦後80年ドラマとして2025年8月に放送されました。

### <贈賞理由>

「八月の声を運ぶ男」は、千人以上の被爆者の声を録音した放送記者を主人公に、一人の被爆者の向こうに無数の被爆者の存在を浮かび上がらせる秀逸な作品。ほぼ会話だけで構成される難易度の高い物語が一瞬も目を離せない仕上がりになったのは、柴田岳志氏の熟練かつ卓抜した演出手腕によるものである。これまで数々の秀作を送り出してきた実績も踏まえ、新しい技術・手法を貪欲に吸収しながら、繊細かつ骨太なドラマを世に出し続ける演出家としての姿勢を高く評価する。

### <柴田岳志さんコメント>

「八月の声を運ぶ男」は、ご一緒したいと願っていた池端俊策さんの脚本に久しぶりにじっくりと向き合えたことが何より嬉しかったですし、企画を立ち上げた若きプロデューサー松本太一さんや加茂義隆さんをはじめ、熟練の東映京都スタッフ、取材に協力してくださった被爆関係者の方との、新しい出会いの積み重ねが大きな力を生んだ作品だと思います。皆様に深く感謝します。戦後80年を過ぎても戦争が絶えないこの世の中で、日本、そして世界の、一人でも多くの人にこの作品を見てもらえたらと心から願っております。

## ■「八月の声を運ぶ男」概要

### 初回放送

2025年8月13日（水） [NHK（総合）]

<https://www.nhk.jp/p/ts/663796R2L1/>

NHKオンデマンドで配信中

### 番組内容

#### <ストーリー>

その生涯をかけ千人を超える被爆者の「声」を録音し、未来へ遺した一人のジャーナリストがいた。長崎の放送局を退職した辻原保（本木雅弘）は、重い録音機材を携え日本全国を渡り歩いていた。活動を周囲から理解されない孤独の中、彼は一人の被爆者・九野和平（阿部サダヲ）と出会う。その感動的な被爆者体験は辻原の心を強く揺さぶり「声」を遺すことへの決意を新たにさせる。しかし、その「声」は謎に満ちたものだった…。

#### <スタッフ・キャスト>

出演：本木雅弘 石橋静河 伊東蒼 国広富之 尾野真千子 田中哲司 阿部サダヲ

原案：伊藤明彦「未来からの遺言 - ある被爆者体験の伝記」

作：池端俊策

音楽：清水靖晃

制作統括：加茂義隆（WOWOW）、尾崎裕和、熊野律時（NHK）

プロデューサー：松本太一（WOWOW）、森井敦（東映京都撮影所）

演出：柴田岳志

## 報道関連・IR関連のお問い合わせ

経営管理局 広報・IR部 TEL:03-4330-8080

E-mail:corp.support@wowow.co.jp

コーポレートサイト:<https://corporate.wowow.co.jp>

SNS(X):[https://x.com/WOWOW\\_Inc](https://x.com/WOWOW_Inc)